

45 山形県奨励品種

品 種 名 (系統名) 親 名	採 用 年 度	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m <sup>2</sup>	芒 の 多 少 ・ 長 短	草 穂 型	穂 発 芽 性	玄 米			千 粒 重 g	品 質	食 味
										色 沢 ・ 光 沢	心 白	腹 白			
[奨励品種] は え ぬ き (山形45号) 庄内29号×秋田31号 (あきたこまち)	平成 3年	8月 7日	9月 19日	73.0	17.6	477	中・中	中間	中	中 飴・ 良	—	極 少	22.1	上 の 上	上 の 中
[奨励品種] コ シ ヒ カ リ (越南17号) 農林22号×農林1号	平成 9年	8月 13日	9月 24日	91.2	18.1	422	少・短	偏穂重	難	濃 飴・ 良	—	極 少	21.3	上 の 下	上 の 中
[奨励品種] つ や 姫 (山形97号) 山形70号×東北164号	平成 20年	8月 13日	9月 20日	79.0	18.2	376	希・短	中間	中	中 飴・ 良	—	極 少	22.1	上 の 上	上 の 中
[優良品種] あ き た こ ま ち (秋田31号) コシヒカリ×奥羽292号	平成 9年	8月 2日	9月 11日	86.0	18.4	450	少・短	偏穂数	難	中 飴・ 良	—	少	22.1	上 の 中	上 の 中
[優良品種] ひ と め ぼ れ (東北143号) コシヒカリ×初星	平成 9年	8月 7日	9月 17日	81.3	19.1	444	やや少・短	偏穂数	やや難	中 飴・ 良	—	少	22.6	上 の 中	上 の 中
[優良品種] サ サ ニ シ キ (東北78号) 奥羽224号×ササシグレ (ハツニシキ)	昭和 39年	8月 6日	9月 17日	83.8	18.1	474	少・短	穂数	中	淡 飴・ 良	—	多 く 中	21.3	上 の 下	上 の 中
[優良品種・低アミロース] 里 の ゆ き (山形84号) 庄内1658×山形64号	平成 16年	8月 1日	9月 11日	66.0	17.3	454	希・極短	中間	中	—	—	少	22.4	上 の 下	上 の 中
[認定品種] 山 形 95 号 山形59号×奥羽366号 (ちゅらひかり)	平成 21年	8月 9日	9月 19日	78.0	18.9	468	少・やや短	中間	やや難	中 飴・ 良	—	極 少	23.6	上 の 上	上 の 中

(水稻) 等の特性一覧表

諸抵抗性						生育の特徴			栽培上の留意点
葉いもち	穂いもち	白葉枯	紋枯	耐冷性	耐倒伏性	生育初期 移植～節間伸長始期まで	生育中期 節間伸長始期～穂孕期まで	生育後期 穂孕期～成熟期まで	
中	中	やや弱	—	極強	強	苗丈はやや短めで分げつは少ない。	葉色濃く生育量は少なめである。	短稈短穂で疎粒であることから登熟が早い。	初期生育を確保し、十分な籾数確保に努めるとともに刈り遅れないよう注意する。
弱	弱	強	—	極強	弱	苗は、はなの舞い並に伸びやすく葉数が進みにくい。	分げつはササニシキより少なく葉身が伸びやすく、葉色は比較的淡い。	長稈で稈質もやや柔であり耐倒伏性は弱である。	晩生種のため、条件のよい平坦地での作付けに限る。生育量や籾数の増加は倒伏や登熟不良に結びつくため、施肥や栽植密度に留意する。
強	強	やや強	—	中	やや強	苗丈は、やや短く、葉色はやや濃い。分げつはやや多い	葉色は濃く、草丈は短い。	短稈で穂数がやや多く、初期登熟は緩慢である。	耐倒伏性に優れ、栽培しやすいものの、晩成種であるため、栽培可能な地域が限定される。施肥基準を守り、適正な籾数確保に努める。
中	やや弱	やや弱	強	中	中	苗は葉色濃く、苗丈は短い。	葉色が濃くその後草丈が伸長する傾向がある。	登熟後期の枯れ上がりにより稈質が低下しやすい。	割籾が発生しやすく、斑点米カメムシ類の被害を受けやすいので、適正な防除に努める。また、下葉枯れが多くなりやすいので、中干しや間断かん水に努める。
やや弱	中	やや弱	—	極強	やや弱	葉色は濃く推移しやすい。	分げつの発生はササニシキより少なく、葉色は濃く推移する。	稈長はササニシキ並でやや長く、穂数は少ない。一次枝梗籾割合が高く、登熟が早い。	ササニシキより穂数、一穂籾数が少ないため、栽植密度や施肥に配慮し、籾数の確保に努める。
やや弱	弱	弱	中	やや弱	弱	分げつしやすい。初期の低温で生育が遅れやすい。	葉身と節間が伸びやすい。	止葉が大きいと倒伏しやすく登熟が悪くなる。	健苗を適期に移植するとともに少肥で受光態勢をよくし、いもち病に注意する。生育量が過大になると、倒伏しやすく、品質も低下するので生育調節を十分行う。
やや強	弱	やや弱	—	極強	強	苗丈短く、草丈も短い。茎数はやや多い。葉色はやや濃い。	草丈は短く、茎数はやや多い。葉色はやや濃い。	稈長は短い。止葉が立ち、草姿がよい。	穂いもちのほ場抵抗性が弱なので、移植時の箱施用剤使用など適期適正防除に努める。品質と食味特性を低下させないため、多肥栽培は行わない。
強	強	中	—	極強	中	苗丈はやや短いが、草丈はやや長い。	分げつの発生はえぬき並みで。草丈はやや長い。	稈長・穂長ともにえぬきより長く、穂数は並みで草姿が良い。	良質・良食味米生産のため、適正な施肥に努める。特に、耐倒伏性は中であることから、倒伏を招くような多肥栽培は行わない。

品 種 名 (系統名) 両 親 名	採 用 年 度	出 穂 期 月 日	成 熟 期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m <sup>2</sup>	芒 の 多 少 ・ 長 短	草 穂 型	穂 発 芽 性	玄 米			品 質	食 味
										色 沢 ・ 光 沢	心 白	腹 白		
[認定品種] 山 形 100 号 山形75号×奥羽366号 (ちゅらひかり)	平成 21年	8月 7日	9月 21日	74.0	18.5	456	少・短	中間	やや易	中 飴・ 良	(少) 中	25.1	上 の 下	—
[認定品種] ど ま ん な か (山形35号) 中部42号×庄内29号 (イブキワセ)	平成 3年	8月 3日	9月 13日	83.0	18.8	423	やや少・中	中間	難	淡 飴・ 良	— 少	23.0	上 の 中	上 の 中
[認定品種] は な の 舞 い (庄内32号) 北陸99号×コシヒカリ	昭和 62年	7月 29日	9月 7日	87.2	17.7	419	少・短	偏穂重	難	淡 飴・ 良	— 少	21.6	上 の 下	上 の 下
[優良品種・もち] ヒ メ ノ モ チ (奥羽糯277号) 大系227号×こがねもち	昭和 47年	8月 1日	9月 10日	79.0	18.6	405	少・短	偏穂重	易	乳 白・ 中	— —	21.6	上 の 下	上 の 下
[優良品種・もち] こ ゆ き も ち (山形糯87号) わたぼうし×山形糯55号	平成 18年	8月 5日	9月 17日	82.3	19.8	370	希・極短	偏穂重	易	乳 白・ 良	— —	22.5	上 の 中	上 の 中
[優良品種・もち] で わ の も ち (び系糯60号) び系38号×中新糯40号	昭和 41年	8月 11日	9月 23日	81.4	18.0	423	無	偏穂重	易	乳 白・ 中	— —	19.1	上 の 下	上 の 下
[優良品種・酒米] 出 羽 燦 々 (山形酒49号) 美山錦×青系酒97号(華吹雪)	平成 7年	8月 4日	9月 16日	89.0	19.0	320	無	穂重	やや難	中 飴・ 良	多 少	26.5	上 の 下	—
[優良品種・酒米] 美 山 錦 (信放酒1号) たかね錦のγ線照射突然変異	昭和 63年	8月 1日	9月 14日	93.4	20.0	362	無	穂重	難	中 飴・ 良	中 少	24.9	中 の 上	—
[優良品種・酒米] 出 羽 の 里 (山形酒86号) 滋系酒56号×山形酒49号 (吟吹雪) (出羽燦々)	平成 16年	8月 7日	9月 21日	79.0	18.3	413	希・極短	偏穂重	やや難	中 飴・ 良	極 多 極 少	26.3	上 の 中	—

※出穂期、成熟期、稈長、穂数、玄米千粒重は農業総合研究センター（山形市みのりが丘）でのデータ  
上記以外及び山形95号、山形100号の全データは水田農業試験場（鶴岡市藤島）でのデータ

諸抵抗性					生育の特徴			栽培上の留意点	
葉いもち	穂いもち	白葉枯	紋枯	耐冷性	耐倒伏性	生育初期	生育中期		生育後期
						移植～節間伸長始期まで	節間伸長始期～穂孕期まで		穂孕期～成熟期まで
やや強	極強	中	—	強	中	苗丈、草色ともにえぬき並み。草丈はやや長い。	分けつはえぬきよりやや多く、草丈はやや長い。	稈長・穂長ともにえぬきより長く、穂数は並みで草姿が良い。	酒造用掛け米に適する。醸造適正を低下させないため、また耐倒伏性は中であることから、倒伏を招くような多肥栽培は行わない。
やや弱	やや弱	中	—	中	やや強	草丈はササニシキ並みで分けつはやや少ない。	生育量は中庸で受光態勢がすぐれる。	中稈で、粒着も中程度であることから登熟は早い。	草姿が良好であるが、いもち病に弱いので適期防除に努める。
やや強	中	やや弱	中	極強	中	苗は長めで分けつは少なく草丈長い。	節間は長めでやや長稈になりやすい。	葉身はやや長いが枯上がりは少ない。	健苗の適期移植と保温的水管理によって生育促進を図り、早期に茎数を確保する。多肥栽培を避け、受光態勢を良くして登熟向上に努める。
強	強	弱	強	中	中	苗はやや長めで分けつは並。	葉身はやや長めだが、節間の伸びは並。	登熟は比較的安定している。	白葉枯病に弱いので多発地帯には作付けしない。ふ先色が白で稈との識別性がないため、種子更新するなど稈と混入しないよう管理に努める。
やや弱	強	中	—	強	やや強	苗丈は並みで、分けつはやや確保しやすい。	葉色はやや濃い、節間伸長は並み。	草姿は良く、登熟早い。	倒伏には強いが穂発芽性は“易”であることから、適期刈取りに努める。
やや弱	中	弱	弱	弱	やや弱	分けつはややとりやすい。	節間伸長は並。	止葉は大きくなるとやや草姿が乱れる。	葉いもち、穂いもちに弱いため、適期防除に努める。耐倒伏性は“やや弱”なので、多肥栽培は避ける。
やや弱	やや弱	中	—	やや強	中	苗はやや長めで分けつはとれにくい。	葉色はやや淡く、節間がやや伸びやすい。	美山錦より稈はやや短い。	保温的水管理で分けつを促進する。千粒重を確保するためm <sup>2</sup> 当たり籾数を多くしない。葉いもちに弱いので適期防除に努める。
やや強	中	中	—	やや強	やや弱	苗はやや長めで分けつとれにくい。	葉色やや淡く、節間が伸びやすい。	長稈で倒伏しやすい。	保温的水管理で分けつを促進する。倒伏しやすいので、生育調整を徹底する。千粒重を確保するためm <sup>2</sup> 当たり籾数を多くしない。
やや強	やや強	やや強	—	極強	中	草丈はやや短く、分けつはとりやすい。	草丈はやや短く、茎数はやや多い。節間伸長は並。	稈長は並で、草姿は良い。	醸造適性を低下させないため、多肥栽培を避ける。葉いもち及び穂いもちのほ場抵抗性が不十分なので適期防除に努める。